

修了にあたって

21世紀の社会は、生涯学習社会とされています。そして、生涯学習の基礎を培う学校では「生きる力」を子供たちにはぐくむことが課題とされ、様々な改革が進んでいます。

私たち長期研修員は、教育改革の大きな流れの中で、国や県の方針や施策と教育課題を明確にとらえ、自分なりの提言ができるように、研修を重ねてきました。

そして、ここに「平成16年度長期研修研究報告書」としてまとめることができました。

県内各地から集まった長期研修員12名は、研修研究部教職研修課5名、研修研究部情報教育研修課2名、教育支援部教育相談課3名、そして今年度、新たに設置された研修研究部進路指導支援室1名、教育支援部特別支援教育課1名に分かれ、研究を進めてきました。

教職研修課では、生涯学習社会へ向かって進む「第3の教育改革」の動向や今日的な教育課題について基礎研究を行いました。そして各自が具体的な問題意識をもち、経営的な視点から、学校教育の発展に役立つ提案をしようと研究を進めてきました。

情報教育研修課では、情報化に対応する教育への取組を推進するために、情報活用能力の育成や教科目標を達成するための効果的な情報手段の活用の在り方について研究を進めてきました。

進路指導支援室では、生涯学習社会に対応するキャリア教育の在り方を探るとともに、キャリア教育の中核としての進路指導の改善を目指して、研究を進めてきました。

教育相談課では、人間関係の希薄さから起こる様々な問題に着目し、児童生徒が安心感をもつことのできる学級づくり、自分も相手も大切にすることの育成、学校教育相談の充実を図る体制の在り方について研究を進めてきました。

特別支援教育課では、小・中学校で特別支援教育を推進するために、軽度発達障害のある児童生徒への支援に向けた、教員の意識改革と校内支援体制づくりについて研究を進めてきました。

私たちは、この1年間、静岡県総合教育センターの恵まれた環境の中で充実した研修を行うことができました。日々の研修においては、センターで実施された研修会や今日的な教育課題を取り上げた各界の著名人による講演会に参加させていただき、教員としての見識を深め視野を広げることができました。

所員の方々から頂いた助言と教育について語り合った仲間の存在は、研究を進めていく上で、大きな励みとなると同時に心の支えにもなりました。

今後は、ここで得た研修成果を学校や地域で生かし、微力ではありますが、静岡県の教育の発展に寄与していきたいと思えます。

最後になりましたが、この貴重な研修の機会を与えてくださいました静岡県教育委員会や各教育関係機関に感謝いたします。また、私たちの研究に御協力いただいた各学校、専門機関及び所属校の校長や諸先生方、そして所長及び副所長はじめ所員の方々には心よりお礼を申し上げます。

平成17年3月

平成16年度長期研修員一同

